

## ○県立高校再編の評価

### (1) 学校規模について

全県立高校（全日制）の平均学級数は、再編統合を実施した令和2年度に改善された。再編した学校だけでなくそれ以外の学校についても、学校規模を確保したことによって、生徒同士が切磋琢磨できる教育環境のもとで教育内容の充実が図られている。

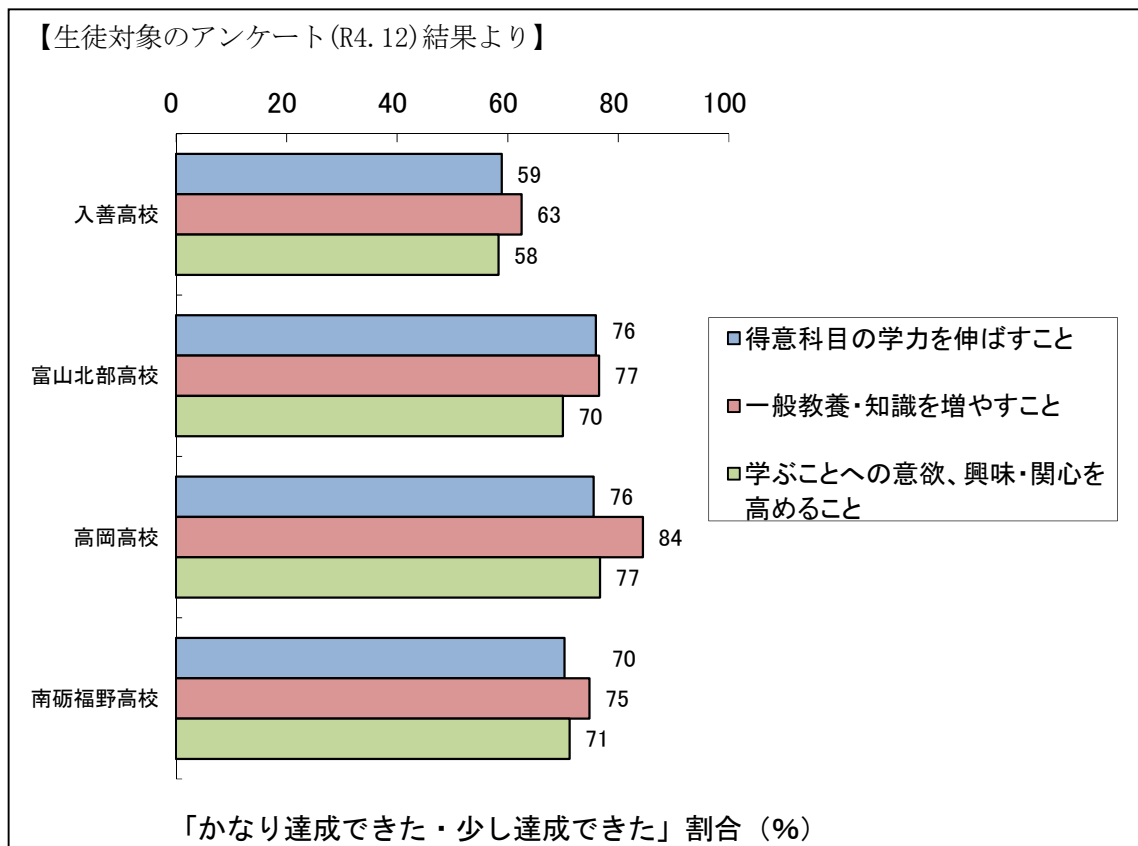
【高校再編（R2再編）による県立高校（全日制）学校規模の変化】

	平均学級数	6学級以上の学校数	3学級以下の学校数
R1	4.5	9	10
R2	5.0	12	4

### (2) 教育活動の充実について

#### ①学力の充実

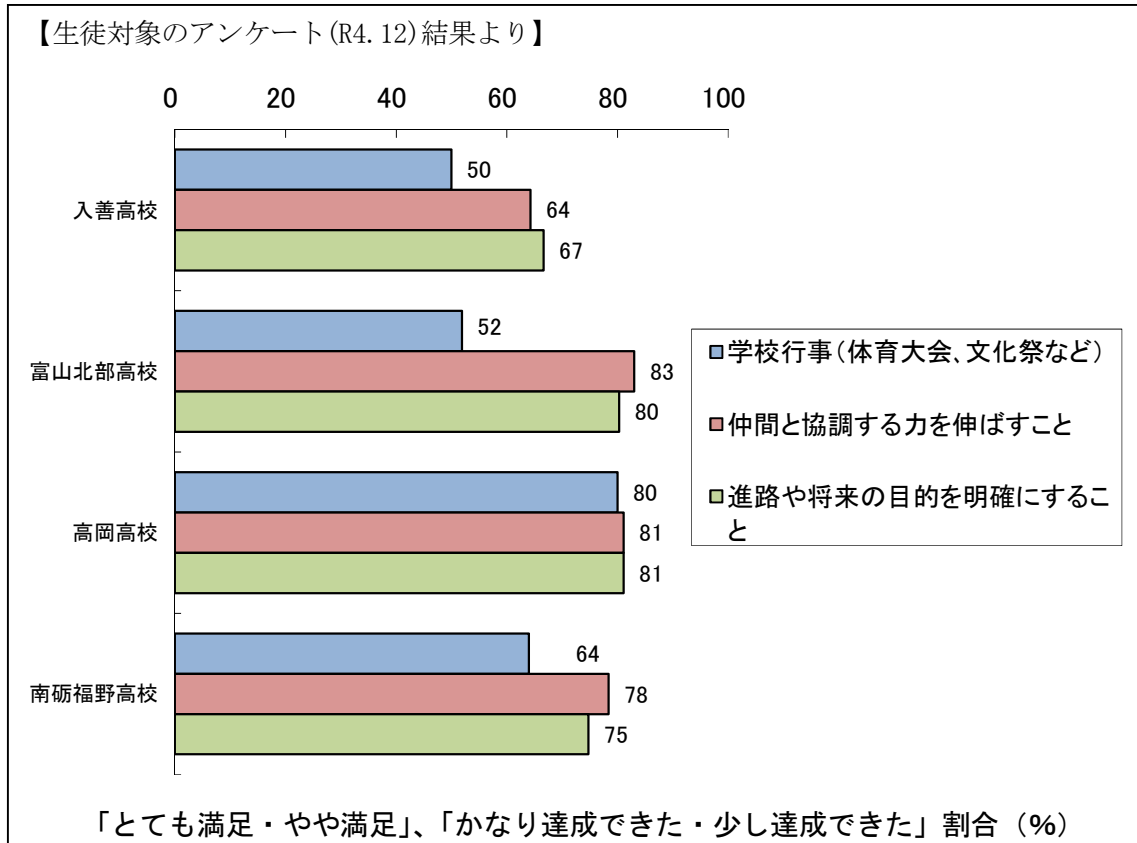
新高校においては目指す姿を明確にし、特色ある選択科目を増やすなど生徒が希望する進路に対応できるようになった。高校生活において、6割～8割程度の生徒が学ぶことへの意欲、興味・関心を高め、得意科目の学力を伸ばすことや一般教養・知識を増やすことができたとしており、学習環境の充実が図られたことがうかがえる。



ただし、生徒数が増えたことなどにより、入学時の学力の幅が大きくなっており、どの生徒も学力を伸ばすことができるよう、一人一人の生徒の状況に応じた指導を工夫して行うことが必要である。

## ②学校行事等の活性化

3年間で培われる学力に加えて、コロナ禍であったにもかかわらず、学校行事等の満足度において一定程度の満足感を示していることに加え、6割～8割程度の生徒が仲間と協調する力を伸ばすことや進路や将来の目的を明確にすることが達成できたとしており、生徒が互いに他者と協働する力を養い、進路実現にも良い影響を与えているのではないかとということがうかがえる。



### 【中学校からの聴き取り】

- ・大学進学や就職などができ、学力や希望に合わせて進路選択ができる。
- ・総合選択制をとっており、学科を越えて選択科目を履修できることが興味深い。
- ・体育コースやくすり・バイオ科、情報デザイン科は近隣高校にはなく、目的が明確な生徒にとっては、進学したいと考える高校となっている。
- ・以前に比べると、探究科学科への志望は増えてきていると感じられる。さらなる情報発信などによって、探究科学科の魅力が高まると良いのではないかとと思う。
- ・学力層の幅が広がったのではないかと考えている保護者もいる。
- ・様々な学科があり、行事や部活動を異なる学科の仲間と取り組める。
- ・体育大会は活気があり、パワーを感じる。様々な学科が集まり、一体となって取り組むので魅力的である。たくさんの人が集まって活動できることは大変良いと考えている。

### ③部活動の活性化

運動・文化系の部活動全般において、部活動数・部員数が増え、活性化している。特に、入善高校ではアーチェリー部、富山北部高校ではフェンシング部、カヌー部、陸上部、ハンドボール部、高岡高校ではソフトテニス部、南砺福野高校ではライフル射撃部のように小規模校から引き継いだ部活動が、各学校の特色の一つとなっている。また、富山北部高校では、体育コースの生徒が各部活動の推進役になっているなど部活動の果たす役割が大きくなっている。

【再編前と再編後の部活動数の変化】

R 1		R 4	
高校名	部活動数	高校名	部活動数
泊高校	15	入善高校	19
入善高校	17		
水橋高校	17	富山北部高校	27
富山北部高校	21		
高岡西高校	22	高岡高校	33
高岡高校	32		
南砺福光高校	17	南砺福野高校	35
南砺福野高校	32		

#### 【中学校からの聴き取り】

- ・部活動の数が増えたことが、良さになっている。
- ・中学校の部活動キャプテンなどが多く進学しており、勉強も部活動もやりたいという生徒が進学している。
- ・運動部以外にも文化部が多種にわたり開設されており、部活動が盛んな印象がある。
- ・外で活動している部活動を目にすることがあり、一生懸命やっているという印象である。

### (3) 新高校における魅力づくりのための取組みについて

#### ① 総合選択制

南砺福野、富山北部、入善の3校において、「総合選択制」により生徒同士が学科の枠を超えて学びあうことができるようになった。

課題として、専門学科の生徒の普通科目に対する学習ニーズが高い反面、普通科生徒は他学科科目の履修が低調という点が挙げられる。今後は、生徒の学習ニーズに合った総合選択制の運用を図ることが望ましい。

#### ② 専門教科と学校設定科目などの学校の特色を活かす取組み

専門教科「体育」の「スポーツⅠ」～「スポーツⅣ」（富山北部高校）では、体育の様々な種目・理論を幅広く学習するとともに、専門種目の高度な運動技能を養っている。また、「観光基礎」「エリアスタディ」（入善高校）、「英文多読講座」（南砺福野高校）などの学校設定科目は、当初のねらいを生かして、生徒の表現力や思考力、実践力を高める役割を果たしている。高岡高校では、希望する進路を実現するために個々の学力に応じた手厚い学習指導により、学力を高めているとともに、探究的な学習を推進し、課題解決力などの探究する力を育成するための学習活動も積極的に行っている。さらに、職業系専門学科を設置している南砺福野高校、富山北部高校、入善高校では、それぞれの分野におけるスペシャリストを育てるための知識・技能を身につける学習や地域社会・企業等との連携による職業人の育成を目指した取組みなど、特色ある教育活動を行っている。

#### 【再編校校長の意見】

- ・観光ビジネスコース「観光基礎」では地域の観光資源をテーマとしたフィールドワークに年間9回取り組むなど地域の魅力や課題の発見につながるよう指導している。生徒対象アンケートでは「今まで気付かなかった地域の魅力に気付いた」に94%、「将来自分の住んでいる地域のために役立ちたい」に64%の回答(同様の全国調査平均37%)を得ている。
- ・総合選択制には、生徒に多様な選択肢を提示するという意義が大きい。異なる学科の生徒同士が同一の授業をうけるなどして、総合制高校の特色を発揮している。生徒の様々な進路希望に応えることができていると感じる。
- ・普通科では、探究科学科との合同学習を実施し、「総合的な探究の時間」を中心に、探究科学科がこれまで培ってきた探究的な活動を取り入れ、成果を上げている。
- ・国際科における「英文多読講座」や「実用英語」、また中国語に関する科目などは国際的視野を広げたり、異文化理解を深めたりするために有効である。また普通科・国際科における「総合的な探究の時間」の「地域課題学習」（1年次）、「とやま地球学」（2年次）は、地域と連携した探究活動を行うことにより地域理解を深めるとともに、思考力や表現力、実践力を高めている。

## (4) 志願状況及び通学状況

### ① 志願状況

再編前の小規模校では、定員割れを起こす学科もあったが、再編の結果、志望者数は、概ね改善が見られるようになった。特に富山北部高校においては、再編後は志願倍率が2倍近くの年も見られるようになった。生徒の希望に応じた進路先のあり方という課題はあるが、より明確な目的意識を持って入学する生徒が増えている。

【再編前と再編後の一般入学者選抜志願倍率】

※下線は定員割れ

#### ◎再編前 (H28～H31年度入試)

泊高等学校				
旧学科 (募集定員)	H28	H29	H30	H31
普通 (120)	1.03	<u>0.79</u>	<u>0.73</u>	<u>0.72</u>

入善高等学校				
旧学科 (募集定員)	H28	H29	H30	H31
普通 (120)	<u>0.95</u>	1.12	<u>0.97</u>	<u>0.93</u>
農業 (30)	1.13	1.19	1.42	<u>0.81</u>

水橋高等学校				
旧学科 (募集定員)	H28	H29	H30	H31
普通 (160～120)	<u>0.92</u>	1.20	1.00	1.02

富山北部高等学校				
旧学科 (募集定員)	H28	H29	H30	H31
普通 (120)	1.27	1.15	1.55	1.34
くすり・バイオ (40)	1.17	2.00	1.52	1.50
情報デザイン (40)	<u>0.95</u>	1.50	1.90	1.35

高岡西高等学校				
旧学科 (募集定員)	H28	H29	H30	H31
普通 (120)	<u>0.98</u>	1.03	1.34	1.00

高岡高等学校				
旧学科 (募集定員)	H28	H29	H30	H31
普通 (200)	1.09	1.00	1.07	<u>0.84</u>
探究科学 (80)	1.21	1.11	1.23	1.44

南砺福光高等学校				
旧学科 (募集定員)	H28	H29	H30	H31
普通 (80)	<u>0.88</u>	1.21	<u>0.96</u>	<u>0.96</u>
国際 (30)	<u>0.55</u>	1.06	<u>0.32</u>	<u>0.45</u>

南砺福野高等学校				
旧学科 (募集定員)	H28	H29	H30	H31
普通 (160～120)	<u>0.99</u>	1.14	1.27	1.20
農業環境 (30)	1.56	1.50	<u>0.81</u>	<u>0.88</u>
福祉 (30)	<u>0.75</u>	1.13	1.40	<u>0.80</u>

#### ◎再編後 (R2～R4年度入試)

入善高等学校			
新学科 (募集定員)	R2	R3	R4
普通 (160)	<u>0.97</u>	<u>0.95</u>	<u>0.85</u>
農業 (30)	1.12	<u>0.86</u>	1.30

富山北部高等学校			
新学科 (募集定員)	R2	R3	R4
普通 (120)	1.81	1.98	1.59
くすり・バイオ (80)	1.98	<u>0.90</u>	1.28
情報デザイン (40)	1.45	2.30	1.17

高岡高等学校			
新学科 (募集定員)	R2	R3	R4
普通 (200)	<u>0.91</u>	<u>0.80</u>	1.10
探究科学 (80)	1.50	1.43	1.00

南砺福野高等学校			
新学科 (募集定員)	R2	R3	R4
普通 (160)	<u>0.96</u>	<u>0.94</u>	1.10
国際 (30)	<u>0.63</u>	1.22	<u>0.81</u>
農業環境 (30)	1.94	2.25	<u>0.81</u>
福祉 (30)	<u>0.53</u>	1.20	1.27

#### 【中学校からの聴き取り】

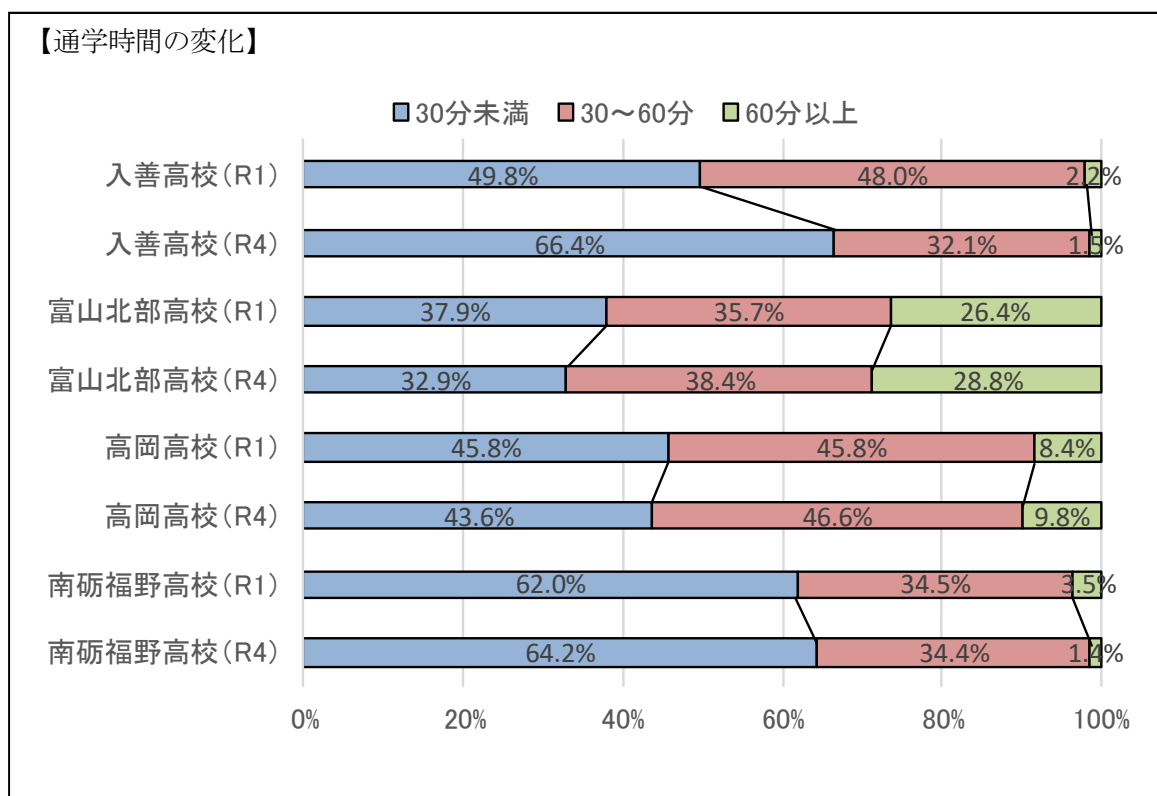
- ・学力層に幅があるように思われるので、その中で授業が成り立っているのかという心配がある。
- ・普通科の合格水準を予測しづらくなり、進路指導の難しさにつながった。
- ・再編前と変わらず、努力して入りたいと思う高校である。
- ・複数の学科があるので、何をしたいのか、何を学びたいのか、卒業後に何をしたいのかをよく面談して決めている。

## ② 通学状況

生徒の通学時間は、再編後の学校によって変化の様子が異なっている。

入善高校や南砺福野高校については、通学時間が30分未満の割合が上昇している。入善高校では、近隣の地域からあいの風とやま鉄道を利用して通学する生徒が多いことが一因と考えられる。南砺福野高校では、自家用車で送迎してもらう割合が上昇している。

富山北部高校や高岡高校については、通学が30分以上の割合が上昇している。富山北部高校では、あいの風とやま鉄道を利用して通学する生徒が多くなっている。また、路面電車の南北接続により、遠方からでも通えるような状況にある。新高校がカリキュラムや施設設備等の充実により魅力が増し、遠方であってもその学校に通いたいという生徒が増えたものと推測される。



### 【中学校からの聴き取り】

- ・路面電車の南北接続により、普通科志望生徒の進路選択肢の一つに入ってきた。
- ・地元志向が強い保護者が多いため、遠方に行く必要がなく、通いやすいありがたい学校である。